

第 108回 訪問介護事業者連絡会 議事録

日時：平成29年 7月 13日(木) 19:00～21:00

場所：福祉センター 地区社協活動室

出席者：藍原、神田、岸本、桜井、山川、渡

オブザーバー：樽井氏、砂川氏、

書記：渡 欠席 宮本氏

1) 高齢者いきいき課からのお知らせ

砂川さん 特にありません

樽井さんより、105回の議事録に砂川氏のフルネームや個人情報が入っていたので、ヘルパーの部屋の議事録より削除した。今後は個人情報の扱いに気を付けましょう。

2) 「へるばあの部屋」は6月30日にアップしました(神田さん)

3) 「へるばあの茶の間」勉強会の日程について 山川さん、他みんな

年に1回の開催、9月頃に行う。内容はオムツ交換、口腔ケアなど提案された。

情報交換の場であるから、総合事業(みなし)の事などを話し合ってみたらどうかと樽井さんより提案があり、内容などについて話合う。対象者はサ責や管理者向け。

関連した内容で、総合事業の説明を市からケアマネに説明してくれたかどうかと神田さんより質問が砂川さんにあった。

予防の利用者が、4月からプランの一部が変わった場合プラン変更の無い事業所までみなしの変更になって混乱している。

ケアマネに言っても答えが得られなかったが、もう少し注意を払って欲しいと思っている。

訪問事業者は声をもっと上げて、疑問点は市に働きかけても良いのではないかと。(樽井さん)不安だらけのA2のサービスだが、行政に事業者として何をしてほしいのかを具体的に伝えないとわからない。

包括の職員との話合いの場として、9月26日に決定。会場は砂川さんに予約してもらう。

テーマは

『霧が晴れない軽度者の支援について地域包括支援センターと話し合ってみませんか』

ささりんどうの古江さんにへるばあの茶の間の趣旨を説明して、参加できる人選はお願いする。山川さんが連絡、案内文原案は山川さんが考える。

連絡は8月21日に支援機構より封書で送る。締め切りは8月31日

私的なお知らせと混同されないように、封書の表に訪問介護連絡会の判を押してアピール。

4) 29年度訪問介護連絡会の研修計画について

9月に開催の茶の間で出た疑問点を11月の研修で使ったらどうか。

行政に出席してもらい、もやもやの状況を伝えたい。11月には総合事業のA1、A2も見えて来ると思うが、人材確保をどうするか、料金はなど、在宅の仕事がどういった内容なのか

を話合ったらどうか。

5) 三者合同研修について 渡の報告

研修企画委員会での坂本さんの提案

「他者を知る」はどうか？

介護保険がスタートして、付添家政婦さんがヘルパーという仕事になったり、お手伝いさんもいて、介護保険を軸としてではなくそれぞれの社会資源として理解する。

通所、通所リハ、短時間リハ、地域密着、小規模多機能等・・・

訪問ヘルパー、デイサービスのヘルパー、施設のヘルパー・・・

何が違うのか？を、話し合ってみる。

次世話人会 29年 8月 10日 木曜日 19:00～20:30

場所 福祉センター 地区社協活動室 書記 神田・山川